



れきはくメイトバスツアー（小浜市・明通寺 2014.10.29）

No.112 2015・2・27

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY
発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>



ISHIKAWA PREFECTURAL
MUSEUM OF HISTORY

れきはく

2015年4月17日(金) リニューアルオープン決定!!



工事見学会 2014.10.9



2-3棟間の中庭 2015.1.20

リニューアルオープンの開館日が決定。本当にお待たせしました。展示室の全面改装、特別展示室の拡大、フリーゾーンの設置など、歴博は大きく変わります。新たな歴史再発見への旅立ちは、もうすぐです。

ここが変わる・新しい歴博

1. 見学しやすくなる！

各棟に分散していた展示室を第1棟に集約。展示室を探して迷うことなし。

2. どなたでも楽しく歴史を体感できる！

展示内容をすべて一新し、豊富な実物資料や模型、大画面での迫力映像など、変化に富んだメリハリのある内容。特に「祭礼体感シアター」は必見。

3. 魅力ある大規模展覧会を楽しむ機会が増える！

特別展示室の規模をこれまでの1.5倍に拡張。開催が難しかった大規模展覧会の誘致が可能に。

4. 無料で気軽にくつろげる場所がある！

新たにフリーゾーンと複数の出入り口(6か所)を設置。ガラス張りのゆとり空間「ほっとサロン」も新設。

5. 共通観覧券(予定)で歴史探検の楽しさがボリュームアップ！

第3棟の約半分のスペースには、隣接する藩老本多蔵品館（4月からは「加賀本多博物館」に改称）が移転オープン。

いま、 歴博では・・・

2月現在、歴博では館内の内装工事が急ピッチで進められています。資料列品の作業にはまだ入っていませんが、模型や映像資料の製作などは順調な仕上がりをみせています。今号ではその内装工事の一部をご紹介します。



中庭 2015.1.20

中庭の整備はじまる

第1-2棟間の中庭、正面玄関の裏側にある広場です。枝垂れ桜があるところですね。ここは赤レンガ棟の雰囲気に合わせて庭園を整備され、自由散策できる素敵なエリアに変貌します。

寒さに耐えてモニターと画像をチェック
ここはフリーゾーンの一角、新設の「れきはくロビー」のミュージアムシアター前。周囲はまだ工中とあって、ヘルメット姿の職員が寒さに耐えながら確認中です。



れきはくロビー 2015.1.15

何だか殺風景なところだが・・・

展示ケースも台もなく、???な場所ですが、ここは第2展示室、祭礼体感シアターの巨大スクリーン。壁3面が使われています。ここへ入った皆さんは、あっという間に興奮の渦の中へ。



祭礼体感シアター 2015.1.26



特別展示室 2015.2.4

デリケートな貴重資料展示もこれでOK

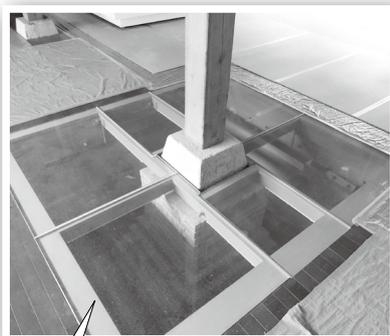
新しい特別展示室の展示ケースです。気密性を高めて、外気の影響を受けないように工夫されたエアタイト式にしました。手前には製作中の模型がチラリと。

今度は何が着られるの？

「歴史体験ひろば」(旧歴史体験コーナー)で着ることができる、新作の時代衣装候補を入念にチェック。どんな衣装が着られるか、乞うご期待。もちろん、大人気の甲冑も今までどおり着られますよ。



歴史体験衣装打ち合わせ 2015.1.15



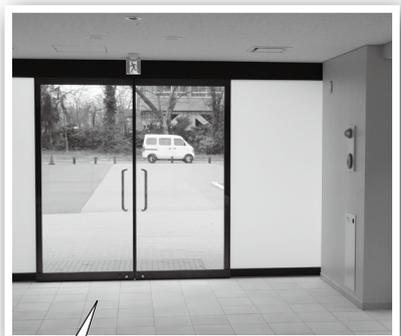
レンガ独立基礎の展示 2015.1.26

ここはどこ？何が見られるの？

石川の通史を紹介する第1展示室のあたりです。何が展示されるかは、まだ、ひ・み・つ。とにかく内容はすべて一新され、これまでの歴博展示室のイメージが一変しますよ。



第1展示室 2015.1.26



新しい出入口 2015.2.4

ん、どこか違う・・・

と、すぐにお気づきなら、あなたは真の旧歴史体験コーナーファンのお一人ですね。これは建物の柱を支えるレンガ独立基礎の展示。頑丈な手すりも撤去され、見やすくなりました。

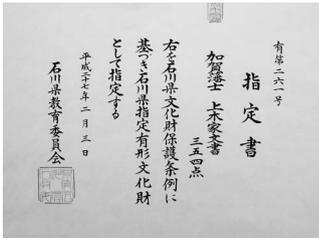
ここはどこ？どこへ出られるの？

新歴博の特徴のひとつ、出入口が増えるのです。これまでは正面玄関一カ所でしたねえ。この場所がすぐにお分かりの方は、相当の歴博通とお見受けします。正解はオープン後にご確認を。

平成二十六年年度の収蔵資料

今年度は、購入資料と寄贈資料を合わせて二十九件、七二五点を収蔵しました。貴重な資料をご寄贈くださったみなさまのご厚情に心より御礼申し上げます。本紙面に新収蔵資料名とご寄贈者の氏名を掲載させていただきます、謝意を表します。本年春、待ちに待ったリニューアルオープンを迎えます。来春のこの期に二か年分の新収蔵資料を一堂に集めた企画展示を行う予定であり、その際はあらためてご案内させていただきます。よろしくお願いいたします。

☆上木家文書が県指定文化財に！



上木家文書県文指定書・表

昨年年度に購入し、今年度に辰巳用水の絵巻や豊臣秀吉朱印状などの修理を終えた上木家文書が、開館を控えたこの時期に県の文化財に指定されました。三五四点の武家文書は歴史の魅力がいっぱい。保存とともに研究を重ねて、みなさんにご紹介いたします。



桜小禽文様四つ身



如来三尊像博仏



満州引揚者のリュックサック

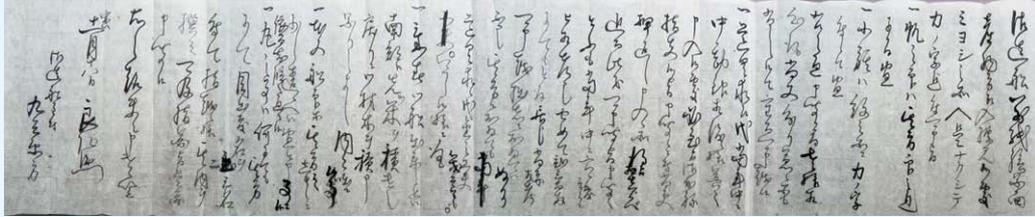
平成26年度収蔵資料一覧 (平成26年12月末 現在)

No.	資料名称	点数	寄贈者(敬称略)
歴史資料			
1	村澤藤作戦前・戦後の暮らし等資料	30	村澤雄一
2	村澤藤作戦争関係資料	41	村澤雄一
3	橋本忠吾撮影写真	49	宮本哲一
4	絵葉書・観光パンフレット	491	村本外茂雄
5	鞍コレクション (第3追加分) 映画・映画館関係資料	21	鞍 達郎
6	鞍コレクション (第3追加分) 第2回国民体育大会関係資料	2	鞍 達郎
7	槍	1	岩崎喜昭
8	昭和50年、60年の円光寺住宅団地画集	14	曾根佳江
9	金沢武家・町屋等建物調査資料	13	購入
10	手取川ダム水没集落等調査資料	33	購入
11	引札	3	購入
12	能登線・七尾線鉄道関係資料	8	購入
民俗資料			
13	消防着	1	山崎浩一
14	ラーメン丼鉢	2	松田悠美
15	獅子具	1	山崎修治
16	加賀谷家染織資料	91	加賀谷哲子

No.	資料名称	点数	寄贈者(敬称略)
17	明治期五寶商店看板	2	五寶利男
18	手動式映写機 一式	1	五寶利男
19	スキー一式 (板、ストック、アザラシの皮)	1式	南 保司
20	ハンドベアリングコンパス	1	南 保司
21	ガスランプ	1	南 保司
22	朱縮緬地扇鼓源氏車文様振袖綿入四つ身	1	竹内美幾
23	藍縮緬地桜小禽文様振袖袖四つ身	1	竹内美幾
24	黒羽二重地富士雲龍文様熨斗目紋付綿入四つ身	1	竹内美幾
25	白羽二重地綿入四つ身	1	竹内美幾
26	藍木綿地袴纏	1	竹内美幾
27	満州引揚者のリュックサック	1	重田重守
28	鶴亀	1	中村 募
美術品			
29	如来三尊像博仏	1	供田安子
寄贈・購入資料 合計		815	

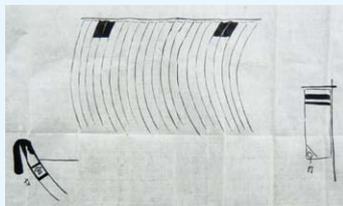
資料紹介

「加藤家文書」について



中良左衛門書状（加藤家文書）

リニューアルオープンまであとわずかとなりました。約二年間にわたり、資料の多くを引越しさせての大作でした。引越しにあたって、資料の確認や台帳整理など、資料と向き合う時間も少しありました。そのなかで見つけた興味深い資料を紹介いたします。石川郡本吉町（現白山市）にあった廻船問屋「加登屋（かどうや）」の古文書で、ご子孫の方から昭和四十三年（一九六八）に寄贈されたものです。当時の記録では、「廻船問屋加登屋旧蔵文書と町役人関係文書の約百点」と記されています。これまで目録が作成されたことはなく、あまり詳しく見てこなかったのですが、全貌の解明はこれからですが、速報で紹介するのが上の文書です。
寅十一月十八日に、良左衛門が御造船主付九兵衛に宛てて出した書状で



す。調べていくうちに、寅は慶応三年（一八六七）ということがわかり、良左衛門はその年の四月まで本吉の湊才許を務めていた中正己、御造船主付の九兵衛とは加登屋当主九兵衛であることもわかりました。そして、その内容も興味をそそられることばかりでした。加賀藩の産物方が予算を立てて藩の所有となる舟才船（北前船）の造船を計画し、その実務責任者に加登屋九兵衛を任命しました。その船がほぼ完成し、運営も加登屋に委託することになったようです。そこで、加登屋から最終確認の問い合わせがあり、産物方の意向を確認したうえで、中が回答をこの書状に記しました。

その内容は、船の舳近くのミヨシに書く印や船旗の裾の印は「力（加登屋の力）」でよいし、帆の印（一部を黒くする）も図（上の写真参照）の通りでよいとし、この船が、来春南部へ米を輸送し帰りに材木を運んでくることも承知したと、概ね運航にあたる加登屋の希望を承認する形となっています。しかし、代金支払いとなる道具代については、年内には支払えないとして延滞させています。

ここで注目したいのは、加賀藩が予算を付けて北前船を造らせたこと、その運営を廻船問屋に委託していること、廻船問屋の加登屋は、本吉湊から南部へ米を運び、帰りに材木を積んでくる航海を予定しているということです。財政難の藩の政策や、財力を蓄えた廻船問屋の経営が、端々に滲み出ています。廻船問屋加登屋の活動は歴史の興味を掻き立ててくれます。加藤家文書の今後の成果にご期待ください。（資料課長 濱岡伸也）

展覧会予告

リニューアルオープン記念・北陸新幹線金沢開業記念 春季特別展 「江戸と金沢」

「北国下街道を歩いた人びと」

四月十七日（金）～五月三十一日（日）

特別展示室・企画展示室

リニューアルオープンを飾る記念すべき特別展は、江戸と金沢との往來の歴史を紹介する展覧会です。本展では「江戸と金沢の交流」、二「城下町金沢」の二つの柱により、「参勤交代の様相」「加賀藩邸と江戸の名所」「街道を行く」「金沢城と城下」「文化の交流」などのテーマを設け、その交流の歴史を探ります。



加賀藩江戸本郷邸泥絵



前田公参観帰国図絵巻

本多の森から

昨年末にようやく建築工事が終わり、内装工事が本格化しました。このあと、外部取蔵庫に一時移転した膨大な資料と備品の引越し作業があり、それらが済んでから、展示作業に入ります。いよいよラストスパート。皆様、あともう少しだけお待ちください。